

「地域の方が普段利用する場所で」

吉田真司

先週 20 日 (火) に「すずかけ台家庭集会」を再開しました。コロナ危機を挟んで、実に 5 年 11 カ月振りのことでした。会場は「すずかけ (自治) 会館」(すずかけ台 駅真向い) で、少し広めの会議室で行いました。

自治会館ということで思い出すのは、今から 25 年前の 2000 年 3 月に発生した北海道・有珠山噴火の際、被災地となった洞爺湖温泉町に月一度の頻度でボランティアに出かけていた時のこと。被災から 9 カ月後のクリスマス時期に、仮設住宅の一角に設けられた「自治会室」を利用して「クリスマス会」を催しました。とき、12 月の豪雪に囲まれる中でのことでした。ところが、その開催時刻前に、仮設住宅入居者 (A さん) と主催者 (当方) との間で緊張する一幕がありました。A さんは「宗教行事を自治会室で行うとは何事か!」との凄い剣幕で、事前に自治会長の承諾を得ていた当方としては驚くばかり。しかし言葉を尽くして趣旨 (避難生活の皆様、とりわけ子どもたちにクリスマス会の楽しみとプレゼントをお渡しするため) を説明する中、A さんの故郷が当方がつとめる函館教会の隣接する地域であることが判明、そこから緊張関係は雪解けし、無事に開催にこぎつけることが出来ました。そればかりか、A さんが「そんなことなら、わしが皆を集めて来る」と言い、瞬く間に集会室は大人から子どもまで一杯、立ち見まで出るという大いなる祝福をいただいた顛末でした。

話を戻して、すずかけ会館での開催形態は、地域に住まう方々が普段利用する場所ということで、教会建物の中での集会よりややアウェー感ある場所ですが、そこに教会から「行って」(マタイ 28:19) お伝えする、そういう実践を共に経験するという意味で大変意義深いことであると思います。思えば、教会建物がまだ無いときは、あらゆる手を尽くし、場所を探して、集会を開いてきたでしょう。この再開した家庭集会が、地域の方々との出会い・交わりを多くいただく場所・機会となりますように、共に祈り、またご参加いただけたらと願います。

教会の定例集会

| | | |
|-----------------|-------|-----------------------|
| 主日礼拝 | 日曜日 | 午前 9:00~10:00 (相模原礼拝) |
| | | 午前 10:40~12:00 (会堂礼拝) |
| 教会学校 | 日曜日 | 午前 9:30~10:20 |
| (嬰兒、幼児、小学生、中高生、 | | 青年、成人、英語、聖書入門の各クラス) |
| 祈り会 | 水曜日 | 午後 7:30~9:00 |
| 金曜集会 | 金曜日 | 午前 10:30~12:00 |
| 家庭集会 (相模原) | 第二火曜日 | 午前 10:00~12:00 (竹村家) |
| (すずかけ台) | 第三火曜日 | 午後 1:30~3:00 (長谷川家) |

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>